

来館者三千人を突破!



三千人目の来館者＝大師河原干潟館一階展示室で

本年1月に開館した大師河原干潟館は、この10月で三千人の来館者を迎えるました。

千潟館は、国土交通省京浜河川事務所と川崎市が共同で建設した、多摩川初の河川防災基地である大師河原地区河川防災ステーション内の大師河原水防センターの一部を、防災情報や環境情報の発信・環境学習の市民活動拠点として活用するため、多摩川に係わる市民活動団体や地域住民により組織された「大師河原干潟館運営委員会」が行政との協働で管理・運営を行っています。平常

ひがたかんタイグズ

2008年11月15日発行
<創刊号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

時はこのような目的で、市民のみなさんに気軽に来館していただくことができる施設として開館していますが、災害時は水防活動・応急復旧等の活動基地及び資材の備蓄基地として機能することになります。

現在、一階の河川情報室には、河川防災情報、二ヶ領大師掘の古地図、河口域に生息する生きものの写真パネルの他、マガキやムラサキイガイなどの貝類、テナガエビ、ケフサイソガニ、モクズガニなどの甲殻類、チヂブ、マハゼ、ウロハゼなどの魚類を入れた水槽を展示していますので、是非ご覧になって下さい。

また、千潟観察会やエコクラフト教室の開催、小中学校への環境学習支援など、地域はもとより多摩川流域の子どもたちにも、その豊かさを感じてもらっています。

今後は、登戸の二ヶ領せせらぎ館とも連携し、多摩川の魅力を発信して行きます。これからも大勢のみなさんのご来館をお待ちしています。

館長のコメント

遠方からもたくさんの方々にご来館いただき感謝しています。四千人も、もう間近です。(小泉茂)

※千潟館に来館したみなさんは、これらの生きものカードをプレゼントしています。
の派手なウエーピング(ハサミン)を見ることができます。

（小泉茂）

千潟のゆかいな仲間たち

第1回 ヤマトオサガニ
文・写真 佐川麻理子
多摩川が東京湾と出合う河口には干潮になると広い干潟が現れ、そこには野鳥やカニや魚などたくさんの種類の生きものがぐらしくてあります。ヤマトオサガニは千潟を代表する力です。春から秋にかけて、潮が引いた多摩川河口に出かけてみると千潟を埋め尽くすようになっていました。ヤマトオサガニの大群に出会えるでしょう。水分の多いドロドロの千潟に4~5センチほどの斜めの穴を開いていたらそれがきっと彼らの巣穴。繁殖期にはメスを誘うオスたち



文・写真 佐川麻理子

多摩川が

東京湾と出合う河口には干潮になると広い干潟が現れ、そこには野鳥やカニや魚などたくさんの種類の生きものがぐらしくてあります。ヤマトオサガニは千潟を代表する力です。春から秋にかけて、潮が引いた多摩川河口に出かけてみると千潟を埋め尽くすようになっていました。ヤマトオサガニの大群に出会えるでしょう。水分の多いドロドロの千潟に4~5センチほどの斜めの穴を開いていたらそれがきっと彼らの巣穴。繁殖期にはメスを誘うオスたち

沈せず無事にゴール？ かわさき多摩川博2008

エコ★カップいかだ下りに参加

かわさき多摩川博2008エコ★

カップいかだ下りが9月28日、登戸の二ヶ領宿河原堰下で開催されました。これは川崎市初の試みとして、

川崎七区の交流と多摩川の流れを肌で感じてもらうことを目的として開催されたものです。川崎区では大師

河原干潟館から二艇、多摩川遊クラブから一艇が参加しました。タイヤチューブなどの発材を利用してつくりたいかだの名前はそれぞれ、ひがたボーアズ号、ひがたガールズ号、かわさきマリナーズ号で、いつも干潟館に遊びに来てくれる子どもたちと大人がその漕ぎ手です。

不安をかかえたスタートでしたが、ガールズ号とマリナーズ号が順調に進んでゴールする一方、体重繰り返したボーアズ号の面々は、びしょぬれになりながらもなんとかゴール地点へ。まさにカラダで多摩川の流れを体感した一日でした。全21艇の参加中、ひがたガールズ

ライフ大賞（タイムが一番遅かった）、かわさきマリナーズがエレガント大賞（とてもスマート）を受賞し、喜びを分かち合いました。

尚、このいかだ下りの写真展が12月に登戸の二ヶ領せせらぎ館で開催されます。詳細は☎044(900)

8386へ。



が多摩川博
大賞（総合的判断）、ひがたボーアズがスロー

大師河原干潟館イベント情報
11月8日（土）エコクラフト教室
場所／千潟館 時間／開館中
☆自然の素材で工作をします。

11月22日（土）定例観察会
場所／殿町千潟 時間／10時～12時
☆千潟館集合です。

12月6日（土）エコクラフト教室
場所／千潟館 時間／開館中
☆ツルや木の実を使ったリースづくりをします。

12月20日（土）定例観察会
場所／千潟館周辺 時間／10時～12時
☆冬鳥の観察会をおこないます。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

※千潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。

※定例観察会に参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい。

○申込先
川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

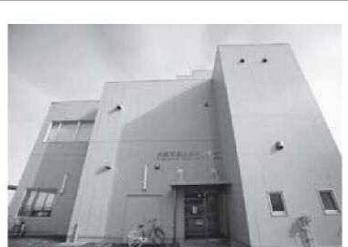
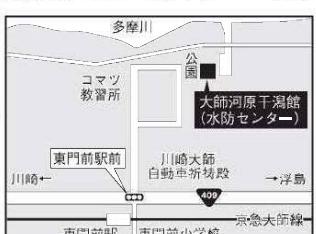
☎044(200)22268

○年末年始のお知らせ
12月28日（日）から1月9日（金）
は閉館します。

ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災拠点・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／土・日・祝日 午前10時～午後3時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原一丁目
※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



◆お問い合わせ（土・日・祝）／大師河原干潟館
Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-3923 Email : 30tamasa@city.kawasaki.jp

入館無料
生きものカードプレゼント中！

おかげさまで一周年



下渴館の運営を開始し、この一月で一周年を迎えます。多摩川流域のみなさんの安心と安全、そしてやすらぎとなるよう、運営委員一同がんばります。

たばかりの大臣 河原千鶴館へ、たくさんのみなさんにお越しにただき感謝しています。現在は、土・日・祝日のみの開館となっていますが、10月に三千人目の来館者を迎えたと思ったら、年末には四千人を超え、五千人目ももう目の前です。これには、スタッフ一同びつくりしています。



館長、今年の抱負を語る

なかなか難しいご時世ですが、ひとりがしつかりと生き、多摩川からも社会を良くしていきましょう。（小泉茂）

ひがたかんタイムズ

2009年1月15日発行
第 2 号
大師河原干潟館運営委員会
発行人 / 小泉 茂

ご存じのよう、千鶴館は平常時はみなさんに気軽に来館していただける施設ですが、災害時には水防活動のための前線基地となります。幸いなことに昨年は千鶴館が基地となるような状況はありませんでしたが、近年頻発する大型台風の上陸や集中豪雨に備えて、河川防災情報の発信と展示についても今年は充実させたいと考えています。

また、多摩川河口の自然の豊かさや地域の素晴らしい歴史と文化をみなさんに知つて楽しんでいただけるよう、千鶴観察会、歴史ウォークなども昨年同様定期的に開催します。展示についても定期的に替え、地域はもとより、多摩川流域の子どもたちの環境学習に役立つよう、行政とも協働し、みなさんに愛される施設を目指して一層努力していきます。

本年度も大師河原千鶴館をよろしくお願いいたします。



第2回 才ナガガ干

千鶴のゆかいな
仲間たち

川河口には、北の国からたくさんのカモたちがやってきます。その中でも特におおぜい秋の終わりのころ初めは短かったオスの尾羽は冬が近づくとだんだんと伸びて、名前のとおりオナガになります。コーヒー色のやや長めの首に白い筋があり、コントラストがきれいな羽色のオスと、茶色のままのメスとが入り混ざって大きな群れをつくります。普段は長めの首を水中に入れて水草などのえさをさぐっていますが、大田区側の河原では、時にはたくさんのオナガカモたちがグランドの上に上がり、人からエサをねだったり、芝生の上の草の実をついばんだりしています。「シイーン

「シャーンブルップル」、「ひびかせて鳴き、長い隊列をつくつて、水かきのある足で潮が満ちた干潟の上をゆつたりと泳ぎまるる姿は、春の花が咲き始める3月の終わりころまで見ることができます。

★川の日ワークショップに参加

第4回川の日ワークショップ関東大会(NPO法人あらかわ学会主催)が、11月16日に江東区古石場文化センターで開催され、千潟館もPRを兼ねて参加しました。様々な流域から16団体がエントリーし、その活動自慢を行いました。残念ながら千潟館は一次選考で落選してしまいましたが、多くの川仲間と交流ができ、有意義な一日となりました。

★流域懇談会10周年記念を調布市で

多摩川流域のいい川、いいまちの実現に向けて様々な取り組みを行ってきた、多摩川流域懇談会の設立10周年記念シンポジウムが、11月29日に調布市文化会館で開催されました。「多摩川の歴史」これまでの10年、これからの10年」というテーマで、今までの振り返りと未来を考える意見交換が行われ、源流から河口までの様々な取り組み紹介の中で、

千潟館の活動の様子も流れました。

これを機会に更なる流域連携が進み、多摩川がいい川として市民に愛されることが期待されています。

★多摩川博開催のお知らせ

かわさき多摩川博2008「未來への流れを感じよう」(川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課、NPO法人多摩川エコミュージアム主催)

が、2月22日(日)午後1時から高津市民館12階大ホールで開催されます。当日は、法政大学の小島聰教授の基調講演、音楽演奏、エコ☆カツブいがだ下りを含む一年間のかわさき多摩川博関連イベントの報告、多

摩川流域の小中学生による環境楽習発表会などが行われます。大師河原千潟館は、いかだ下りで実際に使用したいかだの展示と子供たちによる報告のコーナーに参加します。いかだ下りのビデオ上映と写真パネルの展示もありますので、みなさんぜひお越し下さい。詳細は☎044(922)1025へ。

大師河原千潟館イベント情報	
1月17日(土) エコクラフト教室	2月14日(土) エコクラフト教室
場所／千潟館 時間／開館中	場所／千潟館 時間／開館中
参加費／無料	参加費／無料
○申込先	☆自然の素材で工作をします。

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
☎044(200)2268
大師河原千潟館(土・日・祝)
☎044(287)7882

※1月と2月の定例観察会(千潟・野鳥)はお休みします。

ひがた 大師河原千潟館(大師河原水防センター)

大師河原千潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災拠点・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／土・日・祝日 午前10時～午後3時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原一丁目
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

◆お問い合わせ(土・日・祝)／大師河原千潟館
Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883
◆お問い合わせ(平日)／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasa@city.kawasaki.jp

入館無料

生きものカードプレゼント巾!



◆お問い合わせ(土・日・祝)／大師河原千潟館

Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

◆お問い合わせ(平日)／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasa@city.kawasaki.jp



河口のヨシ原（円内はアサクサノリ）＝河口干潟のヨシ原で

アサクサノリ ヒミツに迫る

ひがたかんタイグズ

2009年3月15日発行
<第3号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

環境省のレッドリストで、絶滅の危機に瀕している種に分類されているアサクサノリが多摩川河口で確認されたのは2006年のことです。

アサクサノリは1970年頃まで、スサビノリと共に東京湾における海苔養殖では主なものでしたが、オオバアサクサノリやナラワスサビノリなど別の養殖品種となつたことや、生息場所である干潟が大規模な埋立によって減少したことから、消失したと見られていました。ところが、千葉県立中央博物館の研究員菊池則雄さんが2004年に採取したサンプルをDNA鑑定した結果、同種であることが確認され、一大ニュースとなつたのです。

アサクサノリの生息地として、多摩川や東京湾が激しく汚染されていたものと考えられています。もともと、以前から地元の方々にはダイシノリとしてその存在は知られていましたが、汚染のひどかった多摩川から人々が遠ざかつていたために、その姿が確認されていかっただけかもしません。

アサクサノリを絶滅させないためには、干潟にヨシ・杭・木など付着できる場所を増やすこと、その糸状体（胞子が発育したもの）が生活できる環境を整えることが重要と考えられています。しかし、何よりも大切なのは、これ以上干潟を減らさないこと、川や海の水を汚さないことです。

千潟館のスタッフも毎年アサクサノリの調査を行っています。今年も河口干潟のヨシ原に生息を確認することができたのですが、例年ですと三月頃まで観察できるその姿も、暖冬だったせいか、二月を最後に見られなくなりました。

千潟館のゆかいな仲間たち

第3回 コガモ

文・写真 佐川麻理子

干潟のゆかいな仲間たち

ひがた

春の訪ねが近づくと、カモの仲間たちが北の国に帰り始めます。が、コガモはここ多摩川河口では例年ですと四月の中ごろまでとどまりています。

名まえの通り、他のカモたちより、やや小柄な体。オスの顔は目の周りが紺色。頭から首にかけては赤茶色。そのさかい目には白い筋がありまます。メスは他の多くのカモたちがそうであるように、地味な茶色の体をしています。オスは「ピュルッ、ピュルッ」と鳴き、メスは「グアッ」と鳴き、春が近づくころにはオス、メスのペアが仲良く水面を泳ぎ回っているようすが見られます。

また、天気のよいおだやかな日にはたくさんのかたちが干潟の上

に集まり、かたまりのようになつて、

気持ち良さそうにひなたほっこをし
ています。主に草の種など植物質の
エサを食べ、多摩川河口ではわりと
岸近くで観察することができます。

★千潟館来館者五千人を突破！

2月21日（土）にめでたく五千人
目の来館者を迎えることができまし
た。これからも大勢のみなさんのご
来館をお待ちしています。

★千潟館パンフレット完成間近

大師河原千潟館のパンフレットが
もうすぐ完成します。千潟館の案内
の他、大師河原河川防災ステーション
や川崎市多摩川プランの説明、千
潟で観察することができる生物の写
真、周辺の散策マップなどを掲載し
ています。4月から配付を開始しま
すので、お楽しみに。

★多摩川博でイカダを展示

かわさき多摩川博2008（川
崎市環境局緑政部多摩川施策推進
課、NPO法人多摩川エコミユージ
アム主催）のシンポジウムが2月22
日（日）に高津市民館で開かれ、約
二百人の多摩川ファンが参加しまし
た。千潟館運営委員会は、工コ☆カッ
プいかだ下りに使用したイカダの展

示と乗船した子どもたちによる報告
のコーナーに参加しました。

★かわさき元気メッセに参加

第7回市民自治創造・かわさき
フォーラム（同実行委員会主催）が、
2月28日（土）と3月1日（日）の

二日間、多摩市民館で開催されまし
た。そのプログラムのひとつである、
市民活動団体の発表と交流の場「か
わさき元気メッセ」に千潟館運営委
員会も参加し、来場したみなさんへ

千潟館のPRを行つてきました。
集合場所／京急大師線東門前駅

時間／8時30分から15時30分（予定）
参加費／200円（小学生以上）

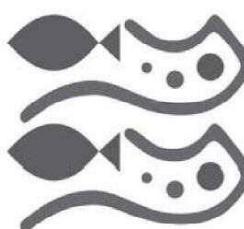
☆「ケ領せせらぎ館から川崎市緑化
センターまで散策します。」

★多摩川のシンボルマークが決定！

川崎市が「川崎市多摩川サイン計
画」の策定に併せて募集した、多
摩川のシンボルマークが決定しま
した。このマークは多摩川関連の

看板やパン
フレットな
どに使われ

ますので、
みなさん
チエックし
ましょう。



→多摩川のシンボルマーク

大師河原千潟館イベント情報

3月7日（土）エコクラフト教室
場所／千潟館 時間／開館中

3月14日（土）千潟観察会
場所／千潟館 時間／10時～12時

3月28日（土）二ヶ領用水を歩く
集合場所／京急大師線東門前駅

時間／8時30分から15時30分（予定）
参加費／200円（小学生以上）

☆「ケ領せせらぎ館から川崎市緑化
センターまで散策します。」

○問い合わせ・申込先

渡辺 044-276-4000
佐川 044-233-5699

4月18日（土）エコクラフト教室
場所／千潟館 時間／開館中

4月25日（土）千潟観察会
場所／千潟館 時間／10時～12時

5月16日（土）千潟観察会
場所／千潟館 時間／10時～12時

○問い合わせ・申込先
川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
044-200-2268

大師河原千潟館（土・日・祝）
044-287-7882

※イベントは天候や諸事情により中
止したり、内容・時間を変更するこ
とがあります。

◆お問い合わせ（土・日・祝）／大師河原千潟館
Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883
◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasu@city.kawasaki.jp

ひがた 大師河原千潟館（大師河原水防センター）

大師河原千潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災拠点・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一室を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／土・日・祝日 午前10時～午後3時

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原一丁目

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

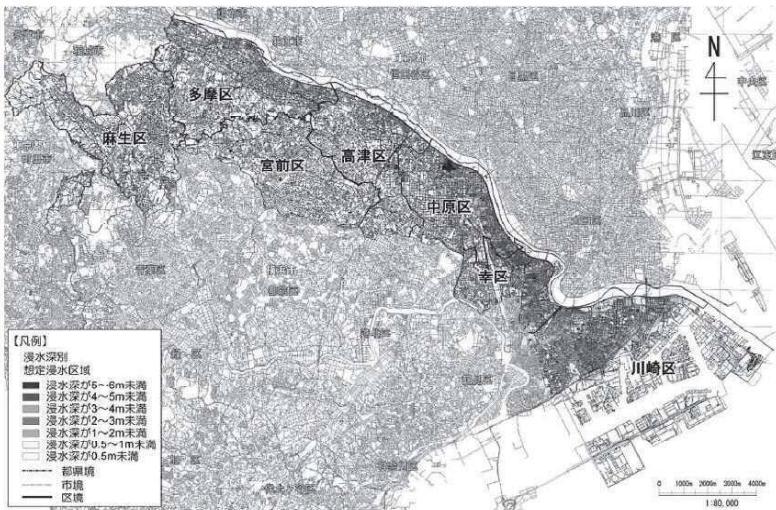


入館無料

生きものカードプレゼント中！

特集：多摩川の水防

その1



大師河原河川防災 の役割とは？

多摩川浸水想定区域図（川崎市） 川崎市建設局作成

上の地図は、多摩川洪水ハザードマップの川崎市関連浸水想定区域図です。これを見れば一目瞭然ですが、神奈川県に接する多摩川は、すべて川崎市域に含まれています。全長138kmある多摩川の中で、30kmが川崎市なのです。これは、多摩川と接する部分が多いことで水辺に親んだり、河川敷で様々なスポーツを楽しむことができると同時に、洪水による災害の危険にさらされる部分も大きくなります。

大師河原干潟館のあ

ひがたかんタイムズ

2009年5月1日発行
<第4号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

る川崎市を例に出しましたが、これを多摩川全流域に置き換えてみてください。人口密度の高い多摩川では、昭和49年の狛江水害のように、堤防が決壊すると大きな被害が予測されます。こうした災害や被害を抑えるために行われている整備事業が「治水」です。これに対し、整備事業の遅れている部分をサポートしたり、現実に起きた災害や被害に対応しての活動を「水防」といいます。

大師河原河川防災ステーション

は、洪水による多摩川流域への被害を防ぐための水防活動や、洪水・地震による災害復旧時の最前線基地となり、ヘリポート、水防活動スペース、復旧用備蓄資材などを備えた施設として建設されました。この中にある大師河原水防センターは、水防活動用の資機材を備蓄し、災害時には応急復旧の基地となります。誤信されていることが多いのですが、この施設はあくまでも倉庫及び基地であって、避難場所ではありません。

川崎市が作成した多摩川洪水避難地図による避難場所は、市内の小・中・高校などとなっていますので、洪水が発生した場合にはその指示に従うことになります。（その2へ続く）



第4回 クロベンケイガニ
文・写真 佐川麻理子

干潟のゆかいな仲間たち

干潟でくらすカニの中では、やや大きめな体、がつちりとしたハサミや足。よく見るとその足にも小さな毛がたくさん生えています。はさみも大きく力もつよい。クロベンケイガニはまさに名前のとおりの、いかつい体つきをしています。ここ多摩川でもとても数が多く、河口付近から多摩川大橋付近まで広い範囲で見られ、一月中から秋の終わりにかけて現れます。とくに雨上がり、河原に水たまりができるときなどには、たくさんのクロベンケイガニがアシハラや草むらの中から出でてきます。

河原に出かけてみたら、落ちている板きれや衣類などのゴミの下を探してみましょう。きっとそんなところ

ろを隠れ家にしているクロベンケイガ二たちど、田舎のいじが出来ぬはずです。

★千鶴館のパンフレット完成

大師河原千鶴館のパンフレットができました。千鶴館の案内の他、大師河原河川防災ステーションや川崎市多摩川プランの説明、千鶴で観察することのできる生物の写真、周辺の散策マップなどを掲載しています。受付で配付していますので、みなさんお手にとどけてご覧下さい。



★千鶴観察会のシーズン到来

暖かな陽気になりましたので、千鶴にはたくさんの人々が訪れていました。千鶴館では定例千鶴観察会を毎月開催していますが、5月、6月はそれ以外にも様々な催しが開催されますので、じっくり紹介いたします。参加申し込み・お問い合わせ等はそれぞれ

の主催者までお願いします。

☆「千鶴・湿地を守るイベント」

千鶴の生きものたち～多摩川河口編

日時／5月9日（土）10時～14時
本自然保護協会自然観察指導員東京連絡会（上田）

☎ 03-6000-2562 8430

<http://www.nacot.org/>

☆かわさき多摩川博～多摩川河口千鶴観察会

日時／5月10日（日）10時～14時

問い合わせ・申込先／NPO法人多摩川H2Hユーロアム

☎ 044-922-1020
<http://www.seseragikan.com/>

☆第4回多摩川河口千鶴～講座と観察会・生物調査（S.O.C.P.10）

日時／5月30日（土）15時～18時

日時／6月7日（日）9時～16時

○問い合わせ・申込先／NPO法人海辺つくり研究会

☎ 044-200-22600

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

☎ 044-200-22600

大師河原千鶴館（水・土・日・祝）

6月は環境月間です
<http://homepage2.nifty.com/umibeken/>

千鶴館広報

6月は環境月間です

- 川にゴミをするのはやめよう。
- 川の水を汚さないために、生活排水を減らしましょう。

大師河原千鶴館イベント情報

5月2日（土）エコクラフト教室

場所／千鶴館 時間／開館中

5月16日（土）千鶴観察会

場所／千鶴館 時間／10時～12時

6月13日（土）エコクラフト教室

場所／千鶴館 時間／開館中

6月20日（土）千鶴観察会

場所／千鶴館 時間／10時～12時

※エコクラフト教室は参加費無料。

※千鶴観察会の参加費は、大人200円、中学生以下100円です。

各回定員25名となっていますので、

参加希望の方は事前にお申し込みが

必要となります。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

○問い合わせ・申込先

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

☎ 044-200-22600

大師河原千鶴館（水・土・日・祝）

5月から毎週水曜日も開館します。

併せて、開館時間も午後4時までとなりました。これからも大勢のみなさんのご来館をお待ちしています。

ひがた 大師河原千鶴館（大師河原水防センター）

大師河原千鶴館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 午前10時～午後4時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

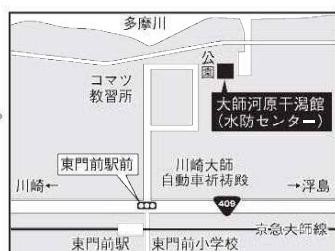
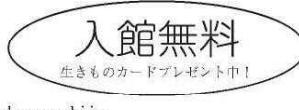


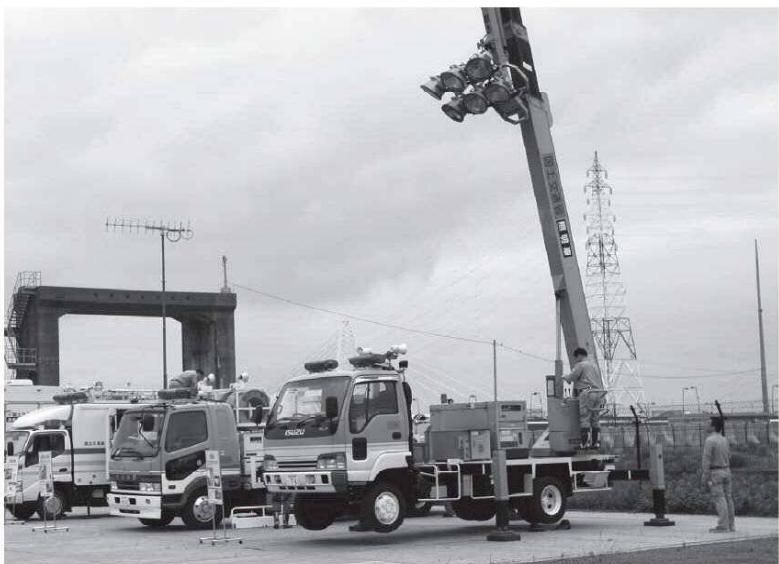
◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原千鶴館

Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-3923 Email : 30tamasu@city.kawasaki.jp





照明車と排水ポンプ車（訓練時）＝水防センター前で

その2
強い味方！災害対策車

特集..多摩川の水防

ひがたかんタイムズ

2009年7月1日発行
<第5号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

さて、水防活動用資機材の備蓄倉庫及び災害時には応急復旧の基地となる大師河原水防センターの中に一体何があるのでしょうか。平常時はその一部を大師河原干潟館として、多くのみなさんにご利用いただいているのですが、実は関係者以外立入禁となっている場所がいくつもあります。それらが、土のう・遮水壁・ロープ・スコップ等の資材や特殊機械が納められた倉庫です。中でも一番大きなものが災害対策車両格納庫で、この中には国土交通省京浜河川事務所が管理する

排水ポンプ車は、台風や集中豪雨等によつてあふれた川の水や、浸水した家屋や道路から水をポンプで吸い込んで被害を防いだり、被害を最小限に抑えるための車両で、一分間に30m³の水を排水することができます。これは、25m³プールの水を13分で空にする能力にあたります。

照明車もまた、台風や集中豪雨、地震による洪水や土砂崩れ等の災害時に、一刻でも早く復旧作業を行うため、夜間でも安全に作業ができるようにつくられた車両です。最大約20mの高さに伸びるアームを持ち、50m離れたところでも本が読めるくらいの明るさがあります。搭載した発電機から外部へ電源供給をすることも可能です。（その3へ続く）

千潟館広報
●千潟の豊かな自然を大切に。
●調査・研究目的以外に、むやみに動植物を採取するのはやめましょう。



第5回 コアジサシ 文・写真 佐川麻理子

干潟のゆかいな仲間たち

サシは、赤道付近や遠くは南半球からやってくるという夏の多摩川河口を代表する渡り鳥です。「キリッキリツ」と川の水面にひびき渡る鳴き声。オスはメスに気に入られようと、一生懸命になつて空中からまるで水をつき刺すように、垂直にダイビングして小魚を捕らえメスに運びます。やがてオスがメスに気に入られカップルが誕生すると、彼らは卵を産み子育てをして夏が終わる前には若鳥をつれて南の国に帰ります。元々は小石が広がる河原や礫地に直接産卵をし、敵からヒナを守る為、集団で予育てをしますが、最近では

マンション用地や工場跡地といった一時的に空いた土地など、不安定な場所を利用して繁殖しています。このためか、けつして数の少ない鳥ではないのですが、環境省が定めるレッドデータブックの希少種に指定されています。

★二ヶ領用水竣工400年

多摩川を水源に、農業・工業用水として川崎市を支えてきた二ヶ領用水が、2011年3月に竣工400年を迎えます。その節目の年に向け、関連市民団体により組織された二ヶ領用水400年プロジェクトが立ち上りました。今後、様々な催しが企画されていますので、お楽しみに。

★夏休み多摩川教室

多摩川の環境や生きものを流域の小・中学生の自由研究等に役立てもらうため、流域自治体等が行う催しです。今年は干潟館からも河口の生きもの紹介のブースを出展します。様々な体験コーナー等もありますので、是非ご参加下さい。

- 日時／7月28日（火）、29日（水）10時～15時※雨天中止（小雨決行）
- 場所／川崎市高津区二子新地地先多摩川の河川敷

◎参加費／無料

◎主催／多摩川流域協議会

◎問い合わせ／京浜河川事務所環境課

☎ 045（503）4011

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/tama/>

★第2回エコ☆カッピいかだ下り

昨年、川崎市ではじめて開催された、廃材等の工つな材料でつくったイカダ下りが今年も開催されます。

この催しは年間を通して行われている「かわさき多摩川博2009」の一環として開催されるもので、本年度は川崎市内から広く参加チームを公募しました。ユニークな創作イカダが集まる楽しい催しですので、みなさん応援に来て下さい。

○日時／9月6日（日）10時～13時

※雨天の場合は13日（日）に延期。

※出艇の申し込みは終了しました。

○大会本部／二ヶ領せせらぎ館

○コース／二ヶ領用水宿河原堰下から多摩高等学校裏河川敷

○主催／NPO法人多摩川エコミュージアム・川崎市

○問い合わせ／NPO法人多摩川エコミュージアム

☎ 044（622）1025

<http://www.seseragikan.com/>

大師河原干潟館イベント情報

7月4日（土）エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

8月18日（土）干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

8月15日（土）干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

8月1日（土）エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

8月15日（土）干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

※エコクラフト教室は参加費無料。

※干潟観察会の参加費（保険代含む）は、大人200円、中学生以下100円です。各回定員25名となりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※千潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

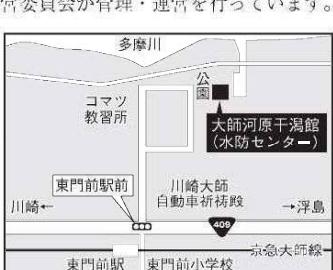
※イイベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

※学校や団体への環境学習も行っております。ご希望の方はご相談下さい。

◆開館日／水・土・日・祝日 午前10時～午後4時

◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。



◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館
Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-3923 Email : 30tamasu@city.kawasaki.jp

入館無料

生きもののカードプレゼント中！